

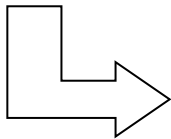
## 公営企業の経営健全化を図る指標

# 資金不足比率

公営企業ごとの資金の不足額の  
事業の規模に対する比率

連結実質赤字比率の資金不足額と同様の考え方  

$$\text{資金不足比率} = \frac{\{(\text{流動負債} - \text{流動資産}) - \text{解消可能資金不足額}\}}{\text{事業の規模}(\text{営業収益} - \text{受託工事収益})}$$



20%

経営健全化計画を策定  
(平成20年度決算から対象)

平成28年度決算 (上段:平成27年度)

(単位:千円、%)

会計名	区分	資金剰余 (不足)額	事業の規模	資金不足比率
病院事業会計	法適用	(1,210,195)	(12,323,950)	—
		<b>0</b>	<b>3,099,360</b>	—
水道事業会計	法適用	(11,918,079)	(12,168,009)	—
		<b>11,944,956</b>	<b>11,407,053</b>	—
工業用水道事業会計	法適用	(15,521)	(2,777)	—
		<b>16,041</b>	<b>3,224</b>	—
下水道事業会計	法適用	(10,514,013)	(11,520,446)	—
		<b>9,306,427</b>	<b>10,890,253</b>	—
交通事業会計	法適用	(805,575)	(1,512,523)	—
		<b>957,234</b>	<b>1,644,367</b>	—
食肉センター会計	法非適用	(0)	(12,262)	—
		<b>0</b>	<b>0</b>	—
農業集落排水事業会計	法非適用	(4,737)	(29,032)	—
		<b>7,365</b>	<b>30,073</b>	—
食品工業団地用地会計	法非適用	(553)	(553)	—
		<b>556</b>	<b>556</b>	—

**経営健全化の対象はなし**